

新潟県立栃尾高等学校

平成23年度シラバス

教科名	産業社会と人間	科目名	産業社会と人間	単位数	2単位
教科の特質	原則履修	学年(学級)	1年	使用教科書	産業社会と人間

1 学習目標

生徒に目標を定めさせ、生徒自身に「自分史」を通して、自己分析をさせる。高校卒業後の進路を生徒自身で考え、そのために何を学ぶべきか、生徒自身にとって何が必要かをも考えさせる。また、誰もが職業人となることを前提とし、世の中のために働き、社会の中で集団生活を営むことのできる人間に成長するよう指導する。職業理解を深める。

2 指導の重点

毎時間、授業活動を振りかえさせ、生徒自身に自己評価させ、次の授業に反省点をいかす。「感じる心」「考える」等の場面では、文章表現させ、生徒一人ひとりがどのような考えを持っているかをできるだけ把握するよう努める。科目選択では、生徒の進路実現に活かせる情報を伝え、生徒一人ひとりが目標に近づける科目選択ができるよう配慮する。「産業社会と人間」の中で心を育てることを内容に含め、多方面からも指導する。

3 学習計画

学習活動(指導内容)	学習のねらい	評価方法
前期・オリエンテーション	総合学科で学ぶ意義を考え「産業社会と人間」の学習について理解する。 (4時間)	
前期・進路意識啓発講演会	進路意識の啓発と学習習慣の形成を図る。(2時間)	感想文
前期・職業調べ	職業について考え、どんな職種があるのか、自分の適性は何かを考える。職業と産業の違いや種類、企業の仕組みや内容を知り、就職や進学の大要を理解させることによって、自分の進路を考える意識を喚起する。(6時間)	
前期・科目選択ガイダンス	望ましい進路選択のためのガイダンスを行う。(6時間)	
前期・履修計画作成①	次年度以降の科目選択を行う。(8時間)	
前期・自分史の作成	自己を見つめ自己理解を深める。(4時間)	自分史
前期・前期自己評価	前期を振り返る。(2時間)	ノート

新潟県立栃尾高等学校

後期・履修計画作成②	次年度以降の選択科目を決定する。 (4時間)	
後期・職業観・勤労観の育成 後期・職場見学ガイダンス	働くことの意義について考える。(8時間) 見学の目的、見学先について理解する。 (4時間)	
後期・職場見学	企業を訪問、見学する。 見学後レポートを提出する。(2時間)	レポート
後期・上級学校見学ガイダンス	見学の目的、見学先について理解する。 (4時間)	
後期・上級学校見学	大学・専門学校を見学し、終了後レポート を提出する。(2時間)	レポート
後期・ふるさと理解	地元の歴史・産業などについて理解する。 (4時間)	
後期・ライフプラン作成	「私のライフプラン」をまとめ、自己の あり方・生き方について考える。 (4時間)	ノート
後期・年間のまとめと自己評価	1年間を振り返る。(6時間)	まとめ

4 課題・提出物等

毎時間、グループ活動をさせ、まとめプリントを提出させる。
その他、作文・感想文・レポートを随時提出させる。

5 評価規準と評価方法

(観点別に記載)

- ・授業態度 <積極的に授業に参加しているかどうか>
- ・出席点 <欠席時数が多い場合は減点>
- ・レポート <毎時間提出、内容は感想・反省等>
- ・郊外活動 <企業見学・学校見学等の態度、レポート>
- ・提出物 <提出状況等>
- ・科目選択 <進路を踏まえた選択かどうか>

6 担当者からの一言

いずれはみんな社会人になることを前提とし、いろいろな場面で「モノの見方」・「考え方」を学んで欲しいと思います。人は生きがいのためにやらなければならないことがあります。「働く」こともその一つ。生きるための根幹に値します。そろそろ真剣に自分の将来を考えてみましょう。